

# 松下幸之助経営塾

[第四期] 2012年7月開講

特別講師

※肩書きは、掲載当時のものです



## 佐久間 昇二 (さくま・しょうじ) 日本テレネット株式会社 取締役相談役

1931年、新潟県生まれ。54年、大阪市立大学経済学部を卒業。56年、同大学院経営学研究科修了後、松下電器産業株式会社(現・パナソニック株式会社)に入社。83年、同社取締役・経営企画室長。86年、同社専務取締役。87年、同社取締役副社長。93年より株式会社WOWOW(当時は日本衛星放送)代表取締役社長に就任。以来、徹底したコスト管理と営業強化によって、倒産すら危ぶまれていた同社を再建に導く。社員に対しては、逆境こそ攻めの好機であると説く。同社の入社案内(97年)は、「ふつうの人生を送りたかったら、WOWOWだけはやめておきなさい」の言葉で始まり「それでもWOWOWでやりたい、キミを待つ」で終わっている。2002年より、同社代表取締役会長(兼)社長を務め、03年6月より、会長専任。06年6月より、相談役。11年7月より、名誉顧問。同7月より、日本テレネット株式会社取締役相談役。



## 金井 昭雄 (かない・あきお) 株式会社富士メガネ 代表取締役会長・社長兼任

1942年、樺太(現サハリン)生まれ。66年、早稲田大学商学部を卒業し、サザン・カリフォルニア・カレッジ・オブ・オプトメトリー(SCCO)へ留学。72年、卒業と同時にオプトメトリストのカリフォルニア州営業ライセンスを取得、アルタディナ市で実務に就く。73年、帰国し、株式会社 富士メガネ入社。96年、代表取締役社長に就任。06年、代表取締役会長に就任、07年から社長兼任。83年から同社創業45周年記念事業の一環としてタイのインドシナ難民キャンプを訪問、本業をいかして海外難民視力支援活動(「視援隊」プロジェクト:Fuji Vision Aid Mission)を開始。以降、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)とのパートナーシップでネパール、アルメニア、アゼルバイジャンで活動を展開。本年、この活動が30周年を迎えた。2006年には“難民支援のノーベル賞”とも称されるUNHCR「ナンセン難民賞」を日本人として、企業経営者として初めて受賞、09年に「緑綬褒章」を受章。



## 鍵山 秀三郎 (かぎやま・ひでさぶろう) 「日本を美しくする会」相談役

1952年、疎開先の岐阜県立東濃高等学校を卒業後、翌53年、上京して自動車用品会社「デトロイト商会」に入社。61年には独立して「ローヤル」を創業し、当初は自転車一台から行商をスタートさせた。97年、東証第一部上場とともに、社名を「イエローハット」に変更、翌年には同社取締役相談役、2010年9月退社。誰にでもできる簡単なことを徹底して実践する「凡事徹底」を信条とし、創業以来続けた「掃除」に多くの人が共鳴し、創唱した「日本を美しくする会」の活動は国内ではもちろんのこと、アメリカのニューヨーク、中国、台湾やブラジルなど、海外にも広がっている。「日本を美しくする会」相談役。

著書『一日一話』(PHP研究所)『正しく生きる』(アスコム)、『凡事徹底』(致知出版社)。



## 平田 雅彦 (ひらた・まさひこ) 公益財団法人松下幸之助記念財団 監事

1931年、福岡県生まれ。54年、一橋大学商学部卒業と同時に松下電器産業株式会社(現・パナソニック株式会社)入社。その後日本ビクター株式会社に出向。同社専務取締役を経て、84年松下電器産業株式会社復帰、同社専務取締役、代表取締役副社長、常任監査役を経て、97年同社終身客員。その他日本監査役協会副会長、産業能率大学客員教授、企業社会責任フォーラム理事、エシックス・マネジメント代表など企業倫理の普及、啓蒙に携わる。現在は公益財団法人松下幸之助記念財団監事、ユニ・チャーム株式会社監査役、株式会社エイチ・アイ・エス取締役、株式会社インテグレックス取締役など兼任。

著書に『二人の師匠——松下幸之助と高橋荒太郎』(東洋経済新報社)、『企業倫理とは何か——石田梅岩に学ぶCSRの精神』(PHP新書)、『ドラッカーに先駆けた一江戸商人の思想』(日経BP社)など。



## 梅原 勝彦 (うめはら・かつひこ) 株式会社エーワン精密 取締役相談役

1939年、東京都生まれ。父の経営する会社が倒産し、12歳からネジ工場で働き始める。65年に実兄と会社を設立し、小型自動旋盤用のカム製造を開始。70年に独立してエーワン精密を設立し社長に就任。徹底した短納期で顧客の信頼を勝ち取り、工作機械に取り付けるコレットチャックでは国内シェア6割を獲得。2003年、ジャスダック上場。切削工具再研磨も事業化。07年、取締役相談役に就任し、親族ではない新経営陣にバトンタッチ。08年6月期まで38年間、売上高経常利益率35%超を続けてきた。社員約110人。

著書に、『町工場強さの理由』(2008年・日本実業出版社)、『エーワン精密の儲け続けるしくみ』(2011年、日本実業出版社)。中小企業経営者を応援するために執筆や講演を行なうが、「本業は製造業」と原稿料や講演料は受け取らない主義を貫く。



## 岩井 虔 (いわい・けん) 株式会社PHP研究所 客員

1936年、満州ハルピン生まれ。千葉県、徳島県で育つ。58年、京都大学教育学部卒業ののち、松下電器産業株式会社(現・パナソニック株式会社)に入社。61年、株式会社PHP研究所へ出向し、研究、編集、国際、研修部門を担当する。92年、同研究所専務取締役・研修局長を経て、97年に退任。同研究所顧問を経て、2009年より、現職。PHP研究所の所長であった松下幸之助に、28年間直接薫陶を受けつつ職務を担当。特にここ三十数年は、PHPゼミナールなど、主として企業人のための研修、講演に携わっている。

著書に、『そう考えると楽ですね～松下幸之助との日々』(2006年・PHP研究所)。

